

次期総合計画策定に向けた若者・女性の視点の反映

< 目次 >

実施概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
若者（高校生・大学生）の視点・・・・・・・・	2
女性の視点・・・・・・・・・・・・・・・・	4

● 若者・女性意見聴取実施概要

	相手方	区分	実施日	参加者数 (概算含む)	意見聴取内容
高校生 ・ 大学生	壱岐高校	意見交換	令和6年10月22日(火)	12	長崎県の将来像
	佐世保中央高校	意見交換	令和6年10月28日(火)	11	長崎県の将来像
	松浦高校	意見交換	令和7年3月5日(水)	35	長崎県の強みと弱み、将来像、将来像実現に向けた課題等
	島原中央高校	意見交換	令和7年3月11日(火)	12	長崎県の強みと弱み、将来像、将来像実現に向けた課題等
	活水女子大学	政策提案	令和7年1月6日(月)	12	長崎県の将来像の実現や課題解決のために必要な取組
	長崎県立大学	政策提案 (レポート)	令和6年10月25日(金)	90	長崎県の将来像の実現や課題解決のために必要な取組
		政策提案	令和7年1月30日(木)	11	長崎県の将来像の実現や課題解決のために必要な取組
	長崎大学	政策提案	令和7年2月6日(木)	25	長崎県の将来像の実現や課題解決のために必要な取組
女性	女性活躍推進グループ会議	意見交換	令和6年11月12日(火)	9	長崎県の強みと弱み、将来像実現に向けた課題等
			令和6年12月18日(水)	12	

参加者 計 229 人

●若者(高校生・大学生)の視点(抜粋)

「 」は女性意見と重複しないもの(高校生・大学生独自の視点)

1.長崎県に対するイメージ(強み、弱み、10年後の将来像)

(1)長崎県の強み

区分	個別意見(例)
・自然の豊かさ	海がきれい / 緑が多い、ジオパークがある
・豊かな食材や独自のグルメ	魚がおいしい / 海産物が豊富 / アジフライや佐世保バーガーなどの名物
・本県独自の文化や歴史	他県にない独自の文化 / 異文化や歴史を感じる、世界遺産がある
・観光資源の豊富さ	歴史ある観光地が多い
・Uターン支援	Uターン者や移住者が増えている
・平和学習	平和について学ぶ環境がある
・災害の少なさ	台風や地震が少ない
・まちづくりの進展	長崎駅周辺の再開発 / 長崎スタジアムシティの完成
・人や地域とのつながり	温かい人柄 / 地域の人のつながりが強い

(2)長崎県の弱み

区分	個別意見(例)
・健康づくりの必要性	歩く習慣が少ない / タバコを吸う人が多い
・職業の選択肢	働く場が少ない / 若者が働きたい会社が少ない
・雇用環境	給与水準や最低賃金が低い
・公共交通機関の不便さ	移動に時間がかかる / 移動手段が少ない / 車がないと不便
・空き家対策	空き家が多い / 活用が進んでいない
・人口減少	人口の流出 / 少子高齢化の進行 / 担い手不足
・若者が集う場所の不足	遊べる場所が少ない

(3)10年後の将来像

区分	個別意見(例)
・こどもの居場所づくり	こども達が自由に集える場所がある / こどもが喜ぶ場所がある
・健康づくりの推進	健康に暮らせるようになっている
・多様性の尊重	偏見や差別がなくなっている / 個性が大事にされている
・雇用環境の改善	働きやすい環境が整っている
・魅力ある雇用の創出	魅力ある就職先が増えている / 職業の選択肢が広がっている
・観光コンテンツの磨き上げ	観光都市になっている / 離島や歴史を活かした観光が盛んになっている
・移住者に向けた支援や情報発信	移住者が増え地域に活気がある / Uターンしやすくなっている
・西九州新幹線のフル規格化	新幹線一本で福岡県に行けるようになっている
・公共交通の利便性	移動しやすくなっている / 交通の便がよくなっている
・県の魅力の情報発信強化	長崎県の魅力が県内外に伝わっている
・娯楽施設や商業施設等の充実	若者向けの施設の充実

2. 長崎県の課題と次期総合計画(素案)への反映

区分	個別意見(例)			素案への反映
・子育て世帯の経済的負担軽減	・子育て支援補助金や助成金の充実 ・子育てパスポートの見直しなど経済的負担軽減	P24	[1-2-1-]	・現物給付等による医療費助成
・ひとり親世帯への支援強化	・ひとり親世帯が職業と家庭を安心して両立できる環境づくり	P31 P30	[1-2-3-] [1-2-3-]	・授業料等を含む教育に係る保護者負担の軽減 ・ひとり親家庭等へのきめ細かな支援のための相談体制や情報提供の充実 ・家庭生活支援員による保育サービス等子育て支援の充実 ・ひとり親家庭等自立支援センター、福祉事務所、ハローワーク等の連携による就労支援の推進
・デジタル技術を活用した学びの場や居場所の提供	・オンラインやメタバースを活用した、離島教育における本土地域との情報格差や、島外進学へのハードルの解消 ・オンラインやメタバースを活用した、離島の生徒が多様な価値観に触れる機会づくり	P21	[1-1-4-]	事業群全体
・起業・創業の推進	・県内にない分野の起業の推進 ・長崎県を支える新しい産業の即戦力となる人材育成	P64	[3-1-4-]	・本県のスタートアップを担う人材育成の取組 ・スタートアップの発掘や育成のための県内育成のための県内各地でのワークショップ等の開催 ・スタートアップ交流首都圏交流拠点等と連携したプッシュ型でのスタートアップの誘致 ・アントレプレナーシップ教育の推進
・県産食材の販路拡大	・長崎県の強みである特産フルーツ(びわ、みかん等)の認知度向上	P80	[3-3-2-]	・本県農産物の価値を活かした国内外の流通・販売対策の強化
・スマート漁業・養殖業の推進	・養殖業へのAI導入促進	P78	[3-3-1-] [3-3-1-]	・ICT等の先端技術を活用したスマート水産業の推進 ・地域の中核となる養殖経営体によるデジタル技術導入など先進的取組の展開・普及
・観光客の増加に向けた情報発信	・インターネットやアプリを活用した観光情報発信の強化	P84	[4-1-1-]	・観光データを活用した効果的なプロモーション(生成AIの活用など)
・地域の特性を活かした観光コンテンツの磨き上げ	・県民が自ら地域資源の魅力を認識し観光客に伝える ・現在観光資源として使用されていない離島地区文化の観光への活用	P84	[4-1-1-]	・ポケモンローカルActsとの連携による誘客及び周遊促進 ・地域主体による魅力ある観光まちづくりの取組等に対する支援
・西九州新幹線のフル規格化に向けた取組	・西九州新幹線のフル規格化を目指す ・新幹線一本で福岡県に行けるようになる	P98	[4-2-2-]	・新鳥栖～武雄温泉間のフル規格による整備の実現に向けた県内外への情報発信
・西九州新幹線の利用促進	・西九州新幹線の間駅の利用者も増やす ・西九州新幹線の需要や利用者の増加をはかる	P98	[4-2-2-]	・新鳥栖～武雄温泉間のフル規格による整備の実現に向けた県内外への情報発信
・地域への住民参加機会の拡充	・県民一人ひとりが地域に関わる姿勢やきっかけづくり ・地域コミュニティが抱える悩みや弱みを共有する場づくり	P110	[5-2-2-]	・地域住民主体の地域運営組織の維持・活性化に向けた支援
・SDGsのさらなる推進	・ソーシャルグッド(社会全体の利益や福祉を向上させることを目的とした活動や取組)な取組の浸透	全般		基本姿勢 「SDGs(持続可能な開発目標)の反映」

●女性の視点(抜粋)

「」は若者意見と重複しないもの(女性独自の意見)

1. 長崎県に対するイメージ(強み、弱み、10年後の将来像)

(1) 長崎県の強み

区分	個別意見(例)
・自然の豊かさ	山、海、島など自然が豊か / 温暖な気候
・観光客の増加	修学旅行生が多い / 観光地での人との交流
・豊かな食材や独自のグルメ	食べ物がおいしい / 魚、野菜等の食材が豊富
・人のあたたかさ	のんびりした県民性 / 寛容な人が多い
・寛容性	多様な価値観を受け入れる寛容さ
・長崎県への愛着	地元を好きな人が多い

(2) 長崎県の弱み

区分	個別意見(例)
・子育ての仕事の両立	職場で育児への理解が得られにくい / 残業ができません
・こどもの教育	学校の選択肢が少ない / 大学の学部が少ない
・雇用環境	給与や賃金が低い / 働き方改革の推進が必要
・公共交通の不便さ	車が必須 / 県内市町間の交通アクセスが悪い
・生活コスト	駐車場代や家賃が高い / 物価が高い / ガソリン代が高い

(3) 10年後の将来像

区分	個別意見(例)
・こどもの居場所づくり	子どもが安全で自由に遊べる環境がある / 子どもの元気な声が響いている
・子育て世帯の経済的負担軽減	子どもの医療費、教育費の補助がある / 職場の福利厚生が充実している
・本県独自資源を活かした教育の推進	長崎の自然が活かされた教育環境が整っている
・多様性の尊重	仕事・生き方に様々な選択肢がある / 多様な価値観、生き方が受け入れられる
・多様な働き方	ワークライフバランスが充実している / 柔軟な働き方ができる
・公共交通の利便性	移動が楽になっている / 交通の便が良くなっている

2. 長崎県の課題と次期総合計画(素案)への反映

区分		個別意見(例)	素案への反映	
・子育てしながら安心して働ける環境づくり		・子育てしやすい雰囲気づくり	P24	【1-2-1-】 ・登録制度等による社会全体の気運の醸成や企業等による具体的な取組の促進 ・民間団体等との連携による子育てを応援する情報発信
			P28	【1-2-1-】 【1-2-2-】 事業群全体 ・企業の雇用環境改善を促進するため、研修会開催、専門家派遣、優良企業認証等 ・共家事・共育での促進 ・こども時間の確保・拡大に向けた周知啓発
・ジェンダーギャップの解消		・男女平等の考え方の浸透	P42	【2-2-2-】 ・男女共同参画に関する広報啓発や情報提供、相談、研修会の実施 ・あらゆる分野において男女共同参画を進めるため、様々な関係機関や団体と連携・協働を推進
・雇用環境の改善		・残業を減らすため生産性を向上させる ・働きやすい職場づくりを進める ・男性の働き方改革を進める	P74	【3-2-1-】 ・企業の雇用環境改善を促進するため、研修会開催、専門家派遣、優良企業認証等 ・労働条件実態調査、労働相談、労働者福祉対策
・県内産業を支える人材の育成		・県内産業で活躍する人材を育成する	P67	【3-1-5-】 ・高等技術専門校の普通課程訓練による若手人材の育成 ・県内就職促進・求職者のスキルアップ支援 ・企業在職者の技能・技術の向上に向けたリスキリング支援 ・技能労働者の技能向上・地位向上を促進するための技能振興対策
			P74	【3-2-1-】 ・人材活躍支援センターにおける就職支援 ・障害者雇用の促進 ・高齢者雇用の理解促進
・公共交通の利便性改善		・交通費の負担軽減	P112	【5-2-3-】 ・旅客航路の維持・確保等への支援 ・地域鉄道の維持・確保等への支援 ・路線バスの維持・確保等への支援 ・離島航空路線の維持・確保等への支援 ・持続可能な地域公共交通ネットワークの形成に向けた支援 ・九州MaaSの取組への支援 ・人材確保対策